

令和
5 年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	11	3	法令の基準以上の広さを確保しており、療育等に支障ないスペースがあります。個室も療育内容によって活用しております。	本棚やツールの収納場所を整理して、スペースをさらに広く活用できるようにしております。
	2	13	1	法令の基準通りの人員に加配の職員も配置しております。	法令よりも多くの人員配置を組んでおります。今後も児童の受け入れに合わせ随時調整してまいります。
	3	9	5	バリアフリー化されていない箇所としては、トイレ前に段差が一段あります。現状では特に問題はありませぬ。	今後、車いす等を使用されている方の利用があった場合を想定し、簡易的なスロープの設置等の対策を考えてまいります。
業務改善	4	13	1	毎月リフレクシオン会議を行い、普段の業務内容や療育活動を見直し、反省、今後の目標等を設定・周知を行っています。	今後も情報や目標の進捗状況の事業所内周知を徹底してまいります。
	5	14		当事業所が開設された2年半が経過したところで保護者様のさまざまな視点からの意見をいただいているので、集計し、リフレクシオン会議で周知・検討し、改善を図っています。	保護者様からのご意見、ご意向を事業所内で共有していくことにより、業務改善へつなげてまいります。
	6	13	1	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	4	10	現時点では第三者評価は実施できておりませぬ。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	10	4	現在は、感染症の流行を考慮し外部研修は控えていますが、社内に研修動画等を活用して資質向上に取り組んでおります。	社会状況に合わせて職員の希望を取り、積極的に資質向上のために必要と思われる外部研修への参加を検討してまいります。
適切な支援の提供	9	14		情報収集を初回面談時と、契約時に段階的に、保護者様のご意向を踏まえて、課題を明確にしたうえで計画を立案しております。	各児童の課題を明確にしたうえで、適切な支援計画となるよう努めてまいります。
	10	14		法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。	今後も、適切にアセスメントを行うことにより、状況の把握へと努めてまいります。
	11	13	1	職員間で会議や打ち合わせをおこない、活動内容の決定から実施へと繋げております。	今後も職員間で会議等をおこない、チームでいろいろな活動プログラムを立案できるよう努めてまいります。
	12	14		定着を狙って、プログラムを敷いて固定化する場面もありますが、長期休みなどはできるだけ多くのプログラムを計画しております。	今後も新たな活動を年間・月間単位で取り入れていけるよう、職員間での会議等を行い検討してまいります。
	13	14		平日は机上での療育、教具を使っている学習活動が中心ですが、長期休暇中等の場合には余暇活動等、児童が楽しめる活動も実施しております。	長期休暇中は児童からのリクエストや職員のアイデアを取り入れながら、さまざまな内容を今後も計画してまいります。
	14	14		個別支援計画に沿って児童一人ひとりに合った内容で個別及び集団活動を組み合わせ児童発達支援計画を作成しております。	今後も児童のニーズに沿った個別および集団の活動を組み合わせ個別支援計画を立案し、個々の発達に沿った活動を実施してまいります。
	15	13	1	業務開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	今後も朝礼にて共通認識を行い、日々の業務を円滑に遂行できるよう見直し、改善を継続してまいります。
	16	13	1	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	今後も継続して保護者様からのご要望やご相談内容について職員間で共有しサービスの質の向上を目指してまいります。
	17	14		毎回の支援内容・児童の様子について正確に記録をおこなっております。	今後も支援の検証・改善に繋がるように客観的視点を持って記録の整備に取り組んでまいります。
	18	14		少なくとも半年に一度のモニタリングを必ず行い、次の個別支援計画立案のために目標に対しての達成度や今後の課題を明確にしております。	今後も半年に一度のモニタリングに加え、必要と思われる場合は、その都度実施していくことで、児童の発達にあった個別支援計画を立案できるよう努めてまいります。
関係機関や保護者様との連携	19	14		児童一人ひとりの状況やニーズ、保護者様のご意向を踏まえて、ガイドラインから提供すべき項目を選択しております。また、状況に応じて送迎支援や延長支援の対応も行っております。	今後もモニタリングや随時の相談を通じて、保護者様のご意向や児童の課題やニーズを踏まえ、支援内容の見直しや個別支援計画作成を行ってまいります。
	20	13	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	保護者様・相談支援事業所、ならびに併用されている事業所等の関係機関との連携は重要ですので、今後も児童発達支援管理責任者が参加することにより情報の共有ができるよう努めてまいります。
	21	14		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	学校やご家庭と密に情報共有や打ち合わせを行い共通認識を持ち連携に努めてまいります。
	22	14		医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	14		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	児童発達支援から放課後等デイサービス利用に移行される方の情報をお互いに共有する必要があるため、相談支援専門員と連絡をとりながら情報共有に努めてまいります。
	24	3	4	現在対象となる児童はおりませんが、必要に応じてスムーズに情報共有ができるように準備してまいります。	児童・保護者様のニーズに応じて、必要であれば障がい福祉サービス事業所の情報等を相談支援専門員と連携しながら行ってまいります。
	25	12	2	関係機関等から情報を図り、積極的に研修などに参加してまいります。	支援に関する情報等は機関と常に連携を図っていき支援の向上に努めてまいります。
	26	14		これまででは事業所での交流機会はありませぬでした。	社会状況に合わせ、保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の学童保育などとの交流機会への検討を行ってまいります。
	27	11	3	市から開催の案内があった場合には積極的に参加し、利用児童に対し関係機関で一貫した支援ができるようにしております。	今後も積極的に参加していくことにより、地域や児童の情報収集および一貫した支援ができるよう努めてまいります。
	28	14		事業所での様子や学校・ご家庭の様子との共通理解を共有し、保護者様との共通理解に努め、支援の方向性を検討しております。	今後もモニタリングや担当者会議、家庭連携を通じて情報共有に努めてまいります。
保護者様への説明責任等	29	9	5	必要に応じてご家庭での療育方法や、事業所内相談を通じて支援に関する助言をおこなっております。	今後もご家庭で行える療育や、公式動画を通して療育の様子をご紹介することで少しでも保護者様への支援になるように努めていきたいと思っております。
	30	14		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	今後も契約時と合わせて、お問合せがあった場合は、その都度説明を行ってまいります。
	31	14		保護者様からの子育ての悩み等に対し、保護者様に適切な助言と支援を行っている。	今後も保護者様からの相談があった場合は、情報収集や職員間の共有を行い、早急に対応ができるよう努めてまいります。解決に努め、側面にも情報共有し共通理解を努めてまいります。
	32	3	11	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している。	社会状況に合わせて、開催日時や場所等保護者様のご意向をまもって開催の計画を立案してまいります。
	33	14		児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	今後も取適にご利用いただけるように普段からの取り組みをしっかりと行いつつ同時に、お申し入れをいただいた場合には、早急に対応させていただきます。
	34	14		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している。	今後は毎月「こどもカレンダー」という形で事業所便りを作成し、活動の様子や職員紹介等のお知らせを行ってまいります。
	35	14		個人情報の取扱いに十分注意している。	今後も個人情報については厳重管理を行ってまいります。
	36	14		障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。	今後もスムーズに分かりやすくお伝えできるように心がけてまいります。
	37	4	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	児童および保護者様のご意向で地域の方との交流については配慮する必要があります。実施には検討を重ねてまいります。
	非常時等の対応	38	14		事業所内に各種マニュアルを掲示し、保護者様・職員共に周知するとともに事業所内研修で共通認識を図っております。
39		14		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	避難訓練当日利用の児童には避難する理由や方法を説明し、実施しております。当日利用のなかった児童には紙芝居等で避難の方法を説明しております。
40		14		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	今後は社会状況に合わせて外部研修への参加も活用し、虐待防止について職員の認識を深めてまいります。
41		14		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	今後も身体拘束の禁止については職員間で認識を統一してまいります。保護者様にはその説明を利用契約時に確実に、お申し入れをいただいた場合には、早急に対応させていただきます。
42		14		食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている。	今後もアレルギーについては確実に保護者様から聞き取りを行い、職員への周知を行ってまいります。
43	12	2	該当する事例についてはしっかりと記録を所内により、その概況を周知して事故を未然に防ぐことができるよう努めております。	今後も記録を確実に、ヒヤリハット事例集を活用することで安全な環境作りを目指してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。